

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

- 活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
- データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
- こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和 7 年 4 月 2 日

団体所在地 東広島市黒瀬町津江 857
団体の名称 東広島市立暁保育所
職・氏名 所長 長澤 知子

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春の田んぼのあぜ道を散策した。
- ・園庭に生えている様々な草花を使って遊んだ。
- ・夏野菜を植え、栽培をした。
- ・園庭に田んぼのコンテナを設置して、稲を植えて育てた。
- ・ミミズコンポストで、給食の残菜を入れて、堆肥づくりをしている。(年間を通して)

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・夏野菜を収穫し、給食で作ってもらったり、自分達でもカレーを作ったりして食べた。
- ・未成熟な夏野菜を使って、ままごとの材料にしてごっこ遊びを楽しんだ。

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・神社の裏山を散策した。
- ・地域を散策しながら、様々な秋の自然物を集めた。
- ・自然物を使って、リースやケーキなど作って遊んだ。
- ・保育所で育てた稲を収穫し、おむすびパーティーを開いた。

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・冬の山を散策し、落ち葉や薪を拾って帰り、園庭で焚火をした。
- ・参観日で、保護者と一緒に園庭で焚火をして、マシュマロを焼いて食べた。
- ・木材の廃材を使って、木工作業を楽しんだ。
- ・雪遊び(雪だるま・雪合戦)を楽しんだ。

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

園庭で捕まえたカエルに名前を付けた子どもがいた。それに負けまいと、周りの子ども達もそれぞれ捕まえて「かえちゃん」「ケロちゃん」など思い思いに付け、保育士に写真を撮ってもらい、ドキュメンテーションのようなポスターが出来上がった。たくさん捕まえすぎて、名前のレパートリーがなくなり、ついに、友達の名前をそのまま付ける子どももいた。でも嫌がることもなく「一緒の名前じゃーん」とそこで笑いが起きて楽しい活動の一つだった。親しみをもって関わり、飼いたいという声もあったが、「死んじゃうかも」「カエルのお母さんに会えなくなるのは可哀そう」と命を考えるきっかけとなった。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

・園庭の畑で栽培しているスイカが収穫時期を迎え、収穫しようとしたが、うっかり落としてしまい割れてしまった。しかし、そこで誰も怒ることなく、「食べれんけー、ままごとに使っていい？」と早速スイカジュースづくりが始まった。残りのスイカをどうにかして切ろうとする子、すりこ木を使う子、ペットボトルに入れる子など、試行錯誤しながら楽しんだ。出来上がったころにちょうど片づけになった。そのまま園庭の「続きコーナー」に置かれることになった。

そして、そのまま次の日・・・

案の定、夏の暑い中一日置かれたジュースは、ものすごい臭さを発生させ、子ども達の鼻を直撃していた。その後は、「おいておきたい」ということなく、片づけていた

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

・地域の方、保護者と一緒に有識者にアドバイスをもらいながら、園庭に築山を作った。1日では終わらず、ある程度めどが立ったところまでしかできなかった。次の日、3歳児の男児が雨も降ってないのに、長靴で登所してきた。

「今日はお父さんもお母さんもおらんけー、僕らが築山を作るよ」と勇んで伝えてくれた。その日から、子ども達と保育士が少しずつ土を運び、約1か月かけて、立派な築山が完成した。出来上がってからは、保育所の子ども達の集まる場所となり、遊びの拠点となっている。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

・参観日で保護者と一緒に、神社の裏山へ上り散策を楽しんだ。ミッションは、焚火用の落ち葉や薪を拾ってくること。裏山についてからは、山のふかふかの土を感じたり、木々の間を散策したり楽しんだが、ミッションを終えて保育所へ帰った時には、雪が降り始め、寒い寒い気温になってしまった。しかし、せっかくのミッションクリアのため、どうにか焚火となり、保護者と一緒にマシュマロを焼いて食べた。寒いながらも「焚火にはちょうどいい寒さじゃね」と保護者の方からも好評な1日となった。なかなかできない体験を保育所でしているということを、1日だけではあったが、参観日で感じてくださる方が多かった。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- 交流会や安全管理研修に参加し、自然保育の意義や安全管理の基礎知識を学ぶことができた。（6, 7, 9月）
- 自然体験アドバイザーの先生に来てもらい、様々な自然遊びを教えてもらい、自然保育に対する意識が高まった。

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- 地域の農家の方に稲づくりを教えてもらいながら、稲を育ておむすびパーティーをした。（6月～11月）
- 保護者や地域の方と一緒に有識者のアドバイスをもらいながら、園庭に築山を作り、木を植えた。（10月）

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- 保護者や地域の方と一緒に有識者のアドバイスをもらいながら、園庭に築山を作り、木を植えた。（10月）
- 参観日で保護者と一緒に、神社の裏山を登り散策を楽しみ、落ち葉た薪を拾って帰り、焚火をしマシュマロを焼いて食べた。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--